

# コースの主な見どころ

## 1 川嶋神社



祭神は伊弉那美命・大苦辺命・誉田別天皇。平安時代初期(807年)尾張の国の連、沖津世襲が白沢川新堀割落口近くに創建後、元宮を経て現在の地に鎮座。「延喜式神名帳」に名前が載る、由緒ある神社。

## 2 御用水路跡



寛文3(1663)年柳原で庄内川から取水した御用水は、瀬古で矢田川を横切り(伏越水筒)、名古屋城水堀を満たし(総延長距離約8km)、巾下住民の飲水となった。後に、この水路は農業用水に転用、暗渠となった。

## 3 すいどうみち緑道



犬山で取水した木曾川の水は庄内川底を横切り、守山区内を通り、矢田川を潜り鍋屋上野浄水場へ送られ(総延長距離23km)、名古屋市の飲水となる。守山区内埋設送水管上の道(約2.5km)が「すいどうみち緑道」。

## 4 ブロンズ像「翔」



名古屋市山下中部土地区画整理組合が昭和57年4月、彫刻家・画家の故「三枝惣太郎」氏の作品をここに寄贈した。

## 5 大永寺



本尊は釈迦如来。建久年間に山田重忠が小幡に天台宗寿昌院を創建するが戦火焼失。大永元(1521)年山田氏子孫岡田重頼が曹洞宗大永寺(開山: 柏悦道根)として再建するが、再び戦火焼失。元和3(1617)年岡田善同が再興。

## 6 水屋



明和5(1768)年以前、旧白沢川下流(現: 古川)域の大永寺・瀬古等の村は、低湿地帯で、大雨の度に家屋浸水被害を被った。一部の豪農は1m以上に石積・盛土した高台に家屋を建て、食料等を貯えた。

## 7 熊野社



祭神は伊弉諾命。村社。元和3(1617)年創建。合祀は山神社、本宮社、天神社、神明社、八幡社、御嶽社、津島社。

## 8 守山瓢箪山古墳



5世紀末から6世紀初頭の古墳で全長63m、前方部幅58m、後円部径36mの前方後円墳。昭和27年の調査では、周囲に濠があり、墳丘部では川原石の葺石、須恵器質の円筒埴輪が出土した。

## 9 神明社(廿軒家)



祭神は天照大神・建速須佐之男大神。「廿軒家」は徳川義直の附家老成瀬隼人正正成が当地区に支配下の武家屋敷20軒を建築させたことに由来する。元和元(1615)年所領山林内の一部に氏神様として神明社が創建された。

守山探検隊では新規隊員を募集しています!  
まちあるきイベント(神社・仏閣・史跡・名勝)の企画や運営など一緒に楽しみませんか?

詳しくは守山区役所地域力推進室(TEL:052-796-4524)までお問い合わせください。

